

(仮称) 平塚市大神 (ツインシティ大神) 計画事業 認証評価書の内容

1 環境共生の取組の実施項目

目標	分野	環境共生の取組の実施項目
目標1 自然が有する 機能・魅力を 生かした都市 づくり	土地	1 大幅な土地形状の変更を抑制する
		2 地域の風の流れに配慮した土地利用及び建物配置とする
		3 既存の樹林地、草地、水面、農地等を保全する (その他、土地の保全に係る取組を実施する)
		4 気候緩和のための計画的な緑地を配置する
	みどり	5 地域・地区の特性、生態系に配慮した緑地を整備する
		6 貴重動植物種の保全対策をする
		7 道路との敷地境界に生垣や緑地緩衝帯などを整備する
		8 シンボリックな大径木を保全する
		9 緑とふれあえる場を整備する
		10 緑化保全に係る協定締結や独自ルールを策定する (その他、みどりの保全や緑化推進に係る取組を実施する)
目標2 環境への負荷 を低減する都 市づくり	水	11 雨水の地下浸透能力を強化する
		12 上水道の節水設備を導入する
		13 中水道システムを導入する
		14 雨水利用を目的とした、雨水貯留施設を導入する (その他、敷地内での水資源の有効対策を講じる)
		15 建物外皮の熱負荷抑制にかかる措置を講じる
	エネルギー	16 通風、熱、昼光などの自然エネルギーをパンプ利用する
		17 省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する
		18 太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを利用する
		19 コージェネレーション設備等による地域冷暖房、地域熱供給システムを導入する
		20 エネルギーの需要と供給をコントロールするマネジメントシステムを導入する (その他、エネルギー利用の効率化・合理化に係る取組を実施する)
	資源循環	21 耐久性や更新性の向上など、建築物の長寿命化にかかる措置を講じる
		22 設備の維持管理対策・更新性等の措置を講じる
		23 建築物、外構等によりサイクル材を使用する
		24 ごみ分別収集システムを導入する
		25 建築物を木造化・木質化する
		26 既存構造物を利活用する
		27 生ごみや剪定枝などの排出抑制に取り組む (その他、資源の循環利用に係る取組を実施する)
目標3 環境とのバラ ンスのとれた 交通計画によ る都市づくり	交通	28 施設の整備規模に応じた駐・停車、駐輪スペースを確保する
		29 公共交通機関への乗り継ぎ・乗り換え環境を整備する
		30 公共交通の導入を前提とした道路を整備する
		31 自転車・歩行者空間を整備する
		32 低公害車のサービス拠点を整備する
		33 車・自転車のシェアシステムや、低公害車を導入する
		34 公共交通への近接性を確保する (その他、環境と共生する交通システムの推進に係る取組を実施する)
		35 地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする
目標4 地域アメニ ティを創出する 都市づくり	地域アメニ ティ	36 街並みなどの維持のためのルールを策定する
		37 地域に開かれたコミュニティスペースやサービス拠点などを整備する
		38 災害時に利用出来るような施設を適切に配置する
		39 利用者が安心して過ごせるよう、地域の防災・防犯対策に係る取組を実施する
		40 高齢者、障害者等に配慮した建築物、歩行空間等を整備する
		41 利用者が健康・快適に過ごせる環境づくりに係る取組を実施する (その他、コミュニティ形成の支援など、地域アメニティの創出に係る取組を実施する)

## 2 環境共生の取組の実施内容

目標	項番	環境共生の取組の実施内容
目標 1	4	緑地からの冷気のにじみ出しを考慮し、夏季における卓越風の風上となる南側に緑地帯を確保し、敷地内の気候緩和を図る。
	5	地域の特性に適した樹木であるクスノキ、マテバシイなどを植樹する。
	7	敷地外周に植栽帯を配し、地域の良好な景観形成を図る。
	9	敷地西側に設けた遊歩道に緑地を整備し、利用者が身近に緑とふれあえる計画とする。
目標 2	11	敷地北側と東側に雨水浸透配管を設置し、雨水浸透の促進を図る。
	12	自動水洗の導入により、水の省資源化を図る。
	15	熱還流率の低い外壁材を採用するなど、熱負荷の抑制を図る。
	17	空冷ヒートポンプパッケージ型の空調機やLED照明器具を採用し、建物の省エネ化を図る。
	21	外壁はALCパネル、内部間仕切りはLGS（軽量鉄骨下地）を採用し、将来の可変性に配慮する。
	22	更新必要間隔の優れた建材を使用し、建物の長寿命化を図る。
	23	建物の躯体に電炉材（リサイクル材）を使用する。
	24	敷地内にごみ集積所を設け、ごみの分別収集を行う。
目標 3	28	施設に必要な駐車場スペースを確保し、渋滞を避けることで交通負荷を抑制する。
	31	敷地入口から建物出入口まで、安全な歩行者空間を確保する。
目標 4	35	大神地区のまちづくりに寄与し、周辺環境及び近隣との共生・共存が可能な物流施設とする。
	39	災害対策として、非常用発電機を設置する。
	40	施設内に多機能便所を設置するなど、バリアフリーに配慮する。
	41	休憩室を設置して、利用者が快適かつ健康的に過ごせる環境を確保する。

## 3 環境共生の取組の評価結果

代表指標	取組の評価結果
緑化率	20.7%
エネルギー削減率	0.49
CO <sub>2</sub> 削減率	26%

個別指標	取組項目数	目標項目数
目標 1	4	4
目標 2	8	8
目標 3	2	2
目標 4	4	3

## 4 環境共生の取組の継続・維持管理方針

本認証評価書に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、適正に継続・維持管理が図られるよう努めるものとする。

また、本事業により整備する施設等を譲渡などにより第三者へ承継する場合、承継する者に対し、本認証評価書に基づく環境共生の取組を可能な限り継続していくよう通知するとともに、速やかに県に対して申し出るものとする。